

○ 支援の場

- ・ むぎのこ児童発達支援センター
- ・ 札幌市みかほ整肢園（児童発達支援センター）
- ・ 児童発達支援事業所(9か所)
- ・ 放課後等デイサービス(18か所)
- ・ むぎのこ発達クリニック

■ 家族支援

難聴児支援に関わる情報の提供、相談等

- ・ 難聴や補聴器・人工内耳の説明
- ・ きこえやことばの相談、発達相談、養育相談
- ・ 心理師によるカウンセリング、ピアカウンセリング

北区・東区以外でも送迎が可能な場合があります

■ 家庭訪問

ご家庭の玩具や楽器を使った音楽遊びの提案等

■ 機関支援

在籍幼稚園・保育所・学校・通園施設等への支援

- ・ 難聴や補聴器・人工内耳の説明
- ・ 難聴に配慮した指導や支援の助言

※札幌市障がい児等療育支援事業

その他のむぎのこの事業

- ☆日中一時支援
- ☆小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）
- ☆短期入所（ショートステイ） ☆里親
- ☆地域相談支援「相談室セーボネス」
- ☆計画相談支援 ☆居宅介護 ☆生活介護
- ☆就労移行支援
- ☆共同生活援助（グループホーム）
- ☆企業主導型保育事業「むぎのこ保育園」
- ☆「スワンフェ&ベ-カリー ハーベスト・ガーデン」
- ☆「西尾リプロセス心理臨床研究所」
- ☆「にんしんSOS!ほっかいどうサポートセンター」
- ☆「親子のための相談LINE」（北海道・札幌） など

■ 「むぎのこ」のいわれ

踏まれれば踏まれるほど成長する麦のように
未来に向けて豊かに伸びていけるようにとの
子どもへの願いがこめられています

アクセス



お気軽にお電話ください

社会福祉法人麦の子会 難聴児支援部

TEL. 011-776-6856

FAX 011-776-6857

〒007-0836 札幌市東区北36条東9丁目1-1

bell@muginoko.com (担当:佐藤)



難聴児支援 ベル

通所支援

児童発達支援
放課後等デイサービス

機関支援

保育所、幼稚園、学校等への援助



難聴のお子様を支援します

■ 本人支援 (発達支援)

難聴は、ことばの不明瞭さや、日本語の習得の遅れなど、言葉やコミュニケーションの発達に影響を及ぼす可能性があります。赤ちゃんから学齢期まで、切れ目のない支援を行います。

むぎのこのすべての事業を使った支援①と、難聴に特化した専門的な支援②の2通りの支援を行います。発達へのご心配にも専門的な支援が可能です。

① すべての事業所での支援

児童発達支援、放課後等デイサービス、親子教室(発達クリニック)など、多様な支援の場で難聴に配慮した支援を行います。

月～金曜日で活動時間が設定されています。利用時間はご相談ください

② ベルでの難聴児支援

■ 幼児 (0歳～) 9:00～15:00

・感覚遊び ・運動遊び ・音楽遊び
・散歩 ・給食 ・午睡 など (月～金)

■ 幼児 (2歳～) 10:30～14:30

・絵本 ・手遊び ・音楽・リズム ・散歩
・給食 ・午睡 ・遊び など (火・水)

■ 幼児 (3歳～) 14:00～16:30

・おしゃべり ・おやつ ・手遊び ・絵本
・音楽・リズム ・遊び など (月・木)

■ 学童 (6歳～) 14:00～17:00

・おしゃべり ・おやつ ・宿題 ・絵本
・音楽 ・遊び など (月・木)

◆ 保育士、児童指導員、言語聴覚士、音楽療法士、元聾学校教員が担当

ベルは きこえとことばを 育て 学びと発達を 支える 難聴クラス！

学習や発達の視点

自分一人では難しいかなと感じることも、仲間や支援者といっしょなら楽しくできる程度の活動に、遊びの中で楽しくチャレンジします。できること、分かることを大切にしながら、仲間や支援者とやってみるプロセスを大切にします。

■ おしゃべり コミュニケーション

幼稚園の出来事だったり、履いている靴下の柄だったり、その日の活動内容だったり、話題の多くはそのときの子どもの心の動き次第で決まります。支援者は、聞き役にまわり、話題の案内・整理に努め、話を広げたり深めたりしながら話をまとめ、ことばによる伝え合いの力や考える力の育成に努めます。



■ 音楽・リズム 聴覚活用

ピアノ伴奏に合わせて運動したり、楽器を使ってリズムやメロディを楽しんだり、歌ったりして遊びます。補聴器や人工内耳を使って、音楽の良さを体感します。聞き取りの向上を図り、聞こえの世界を豊かにするほか、音韻意識の形成、発話の流暢性の向上など、ことばの力の充実もねらいます。



■ 遊び 精神発達

わらべ唄遊び、椅子取りゲーム、けんぱなどの聴覚活用。ごっこ遊び、劇などの表現。しりとり、カルタなどのことば遊び。運動や造形遊び。これらをとおして、自分の思いや欲求を体現したり、実行の仕方を工夫したりしながら、いつもと少し違った自分を演じるパフォーマンスを展開します。



➤ 幼児 (0歳～)

赤ちゃんの成長発達や、その日の調子に合わせて、保育を行います。保育士やリハスタッフが、遊びを中心に楽しく赤ちゃんややりとりをしながら、様々な面から全体の発達を促し、聞こえやコミュニケーションを育てます。保護者様には、補聴器装用のお手伝い、子どもさんへのかかわり方・悩み事の相談、情報提供を行います。保育所等の関係機関と密接に連携を図り、きめ細やかな支援を行います。

- 経費は札幌市の規定によります。3～5歳の幼児は無料です。給食費・教材費等は実費を頂きます。
- 在籍する幼稚園・保育所・特別支援学校幼稚部、医療保健福祉機関、認定補聴器技能者などと連携を図ります。
- 国内外の研究を踏まえ、先進的な実践研究を進めます。